

# クラウド / サーバーの 移行・マイグレーションサービス

## サービスのご案内

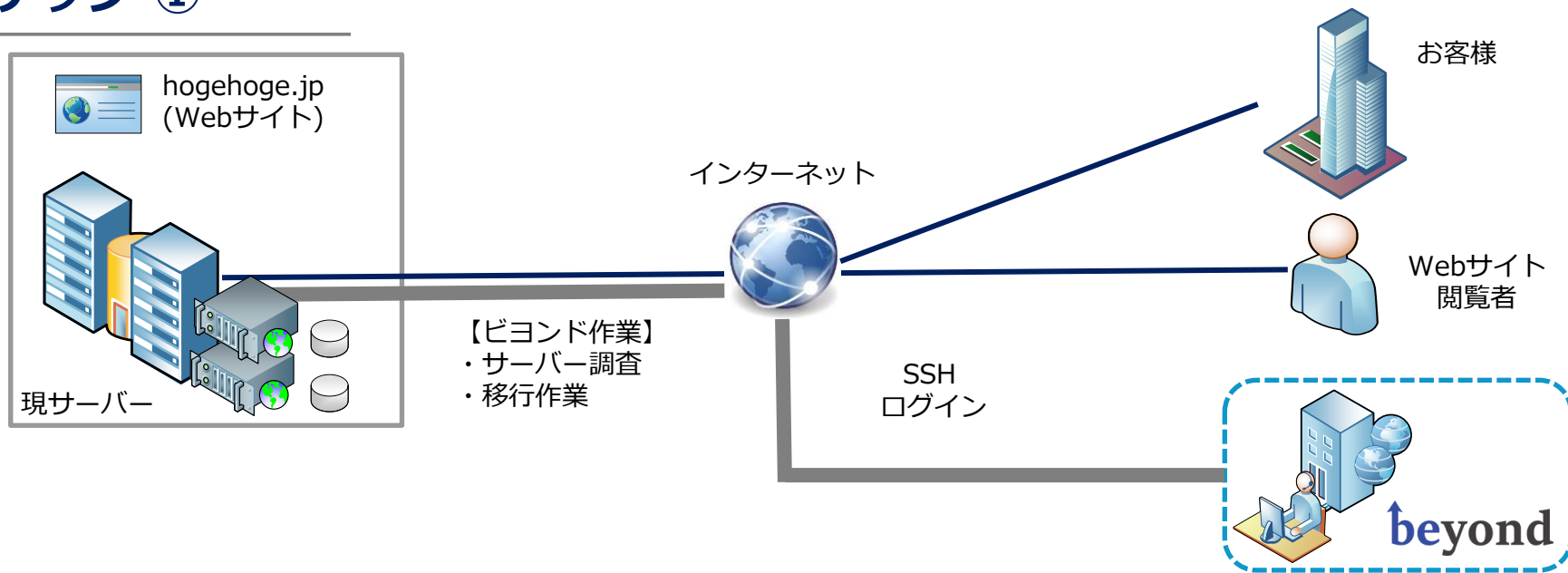
オンプレミス環境（物理サーバー） / クラウドからの  
システム・データ移行をサポートし

お客様の目的や用途に合わせた最適なクラウド設計・構築をおこないます。

# サーバー移行 マイグレーションの流れ

# 現サーバー → 新サーバーへの移行イメージ

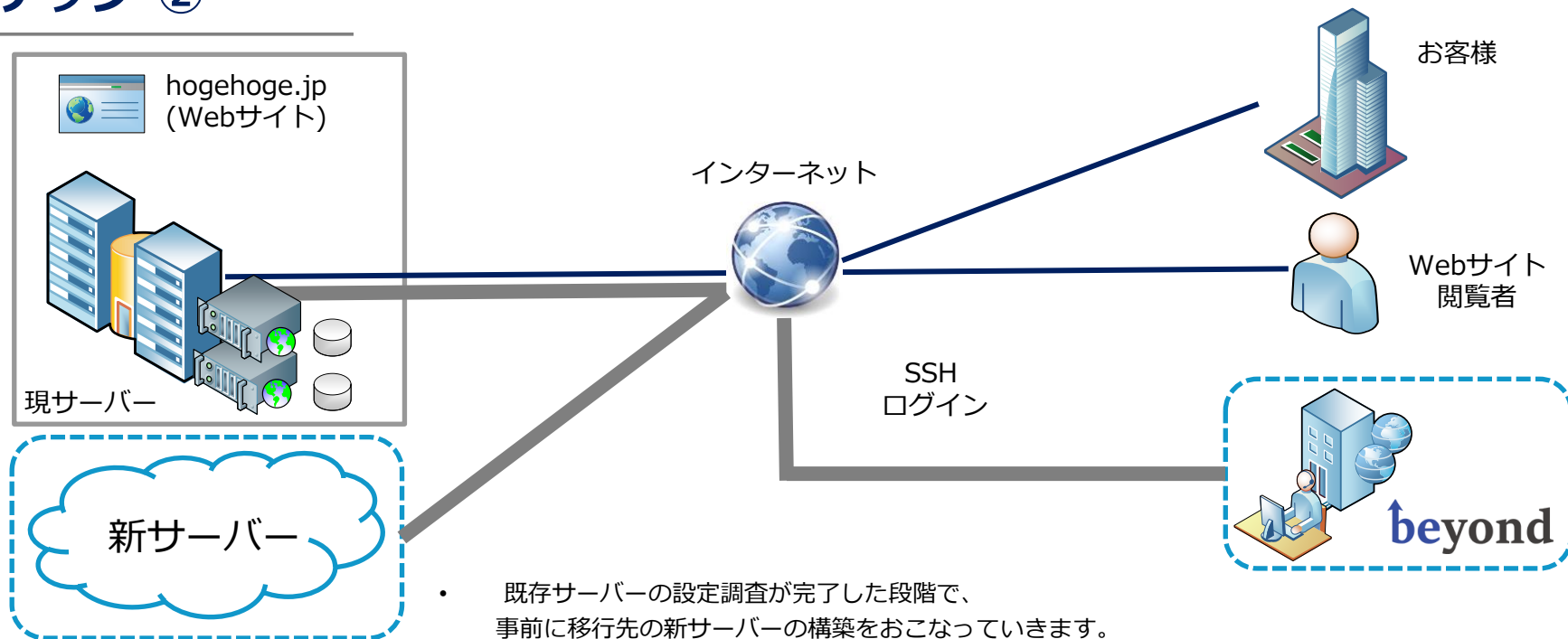
## ステップ ①



※ 弊社からSSHでサーバーログインし、既存サーバーの設定内容の調査・移行作業をおこないます。  
(約 1~2ヶ月間を想定)

# 現サーバー → 新サーバーへの移行イメージ

## ステップ ②



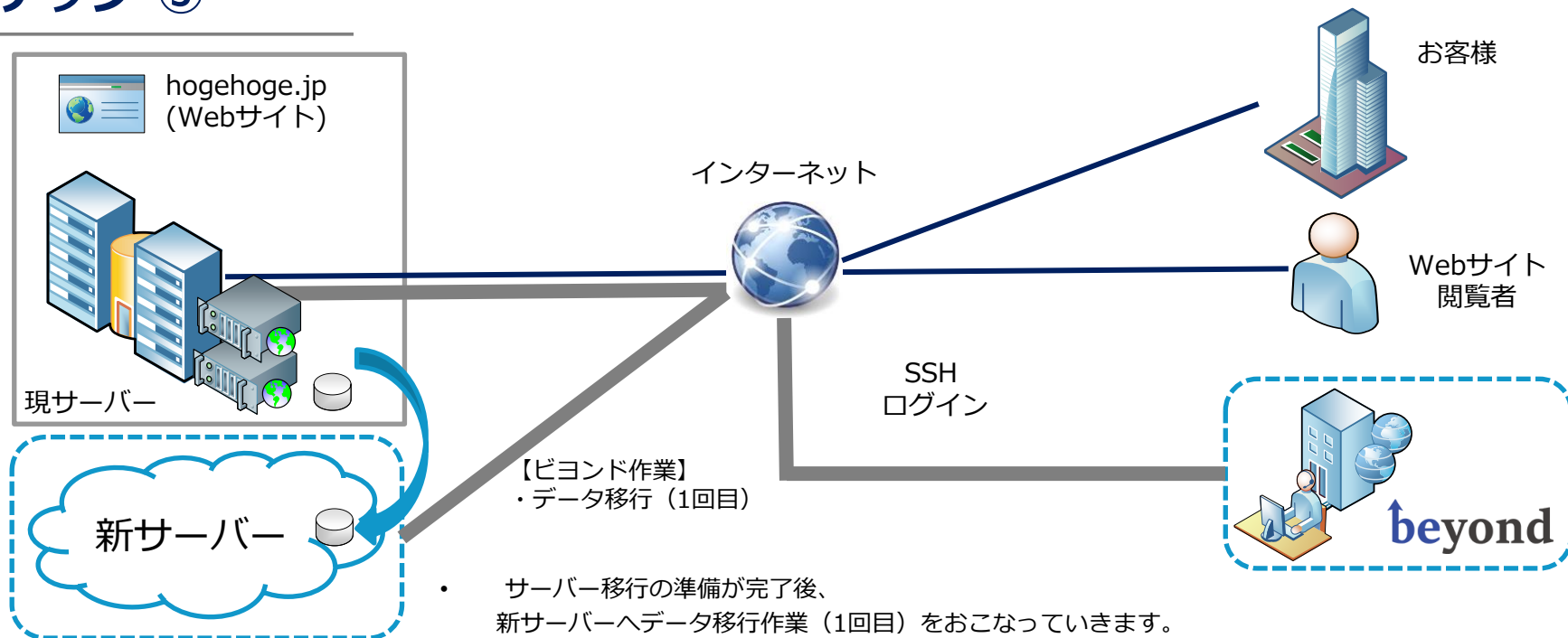
【ビヨンド作業】

・移行先 新サーバー構築

- ・ 既存サーバーの設定調査が完了した段階で、事前に移行先の新サーバーの構築をおこなっていきます。
- ・ 新サーバーの構築が完了後に、サーバー移行の作業に着手していきます。  
※ この時点では、2個のシステムが平行稼働しています。

# 現サーバー → 新サーバーへの移行イメージ

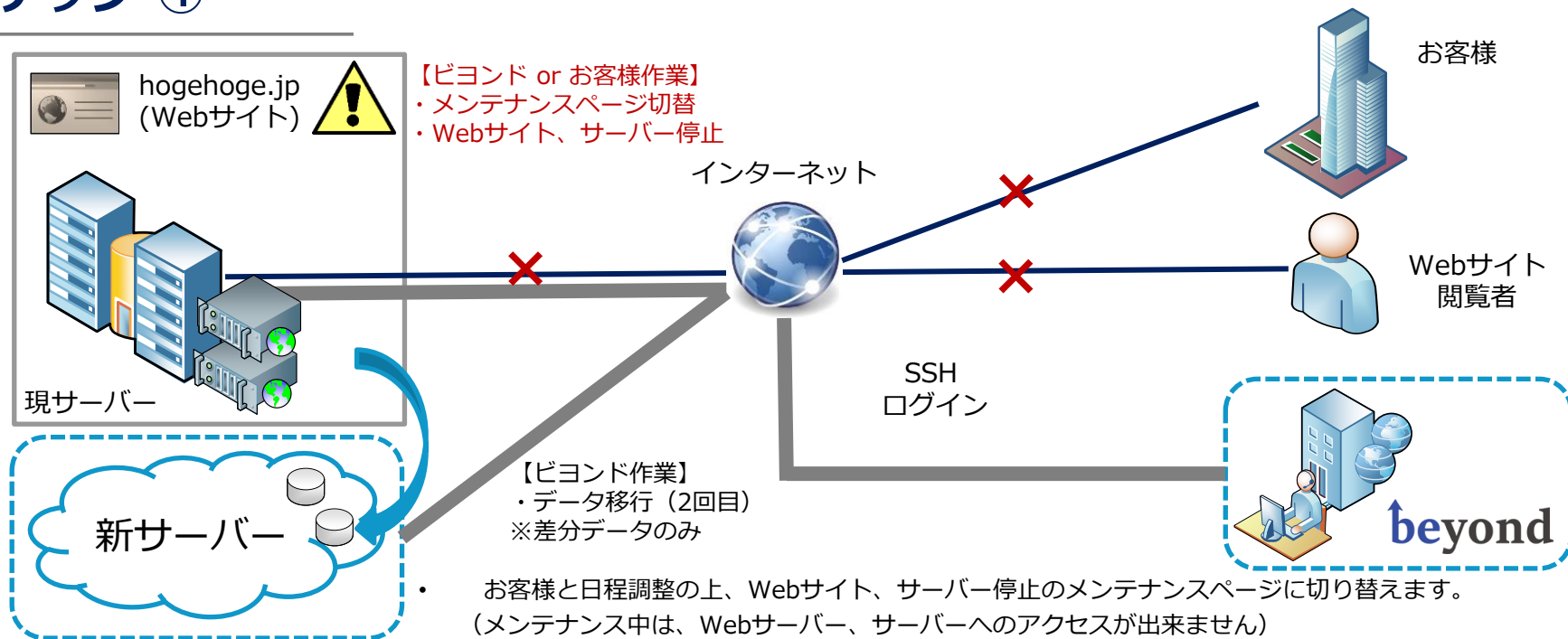
## ステップ ③



- サーバー移行の準備が完了後、新サーバーへデータ移行作業 (1回目) をおこなっていきます。
- 既存サーバーのデータをdumpで取得し、新サーバーへ移行します。  
※ この時点では、2個のシステムが平行稼働しています。

# 現サーバー → 新サーバーへの移行イメージ

## ステップ ④



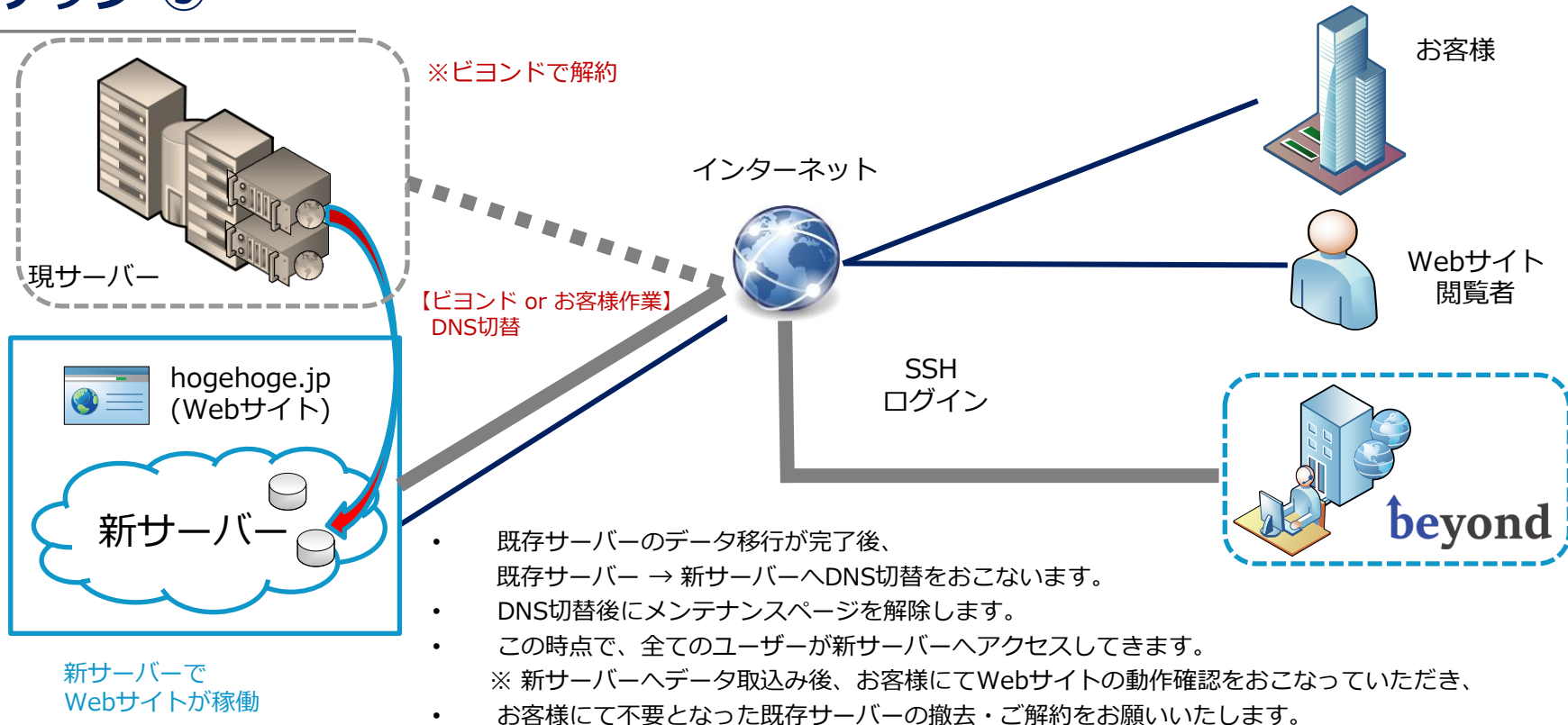
【ビヨンド作業】

- ・データ移行 (2回目)
- ※差分データのみ

- ・ お客様と日程調整の上、Webサイト、サーバー停止のメンテナンスページに切り替えます。(メンテナンス中は、Webサーバー、サーバーへのアクセスが出来ません)
  - ・ メンテナンス中に、新サーバーへデータ移行作業 (2回目) をおこなっていきます。
  - ・ 既存サーバーの差分データのみをdumpで取得し、新サーバーへ移行します。
- ※ この時点では、2個のシステムが平行稼働しています。

# 現サーバー → 新サーバーへの移行イメージ

## ステップ ⑤



# データベース移行方式 の選択肢と対応可否



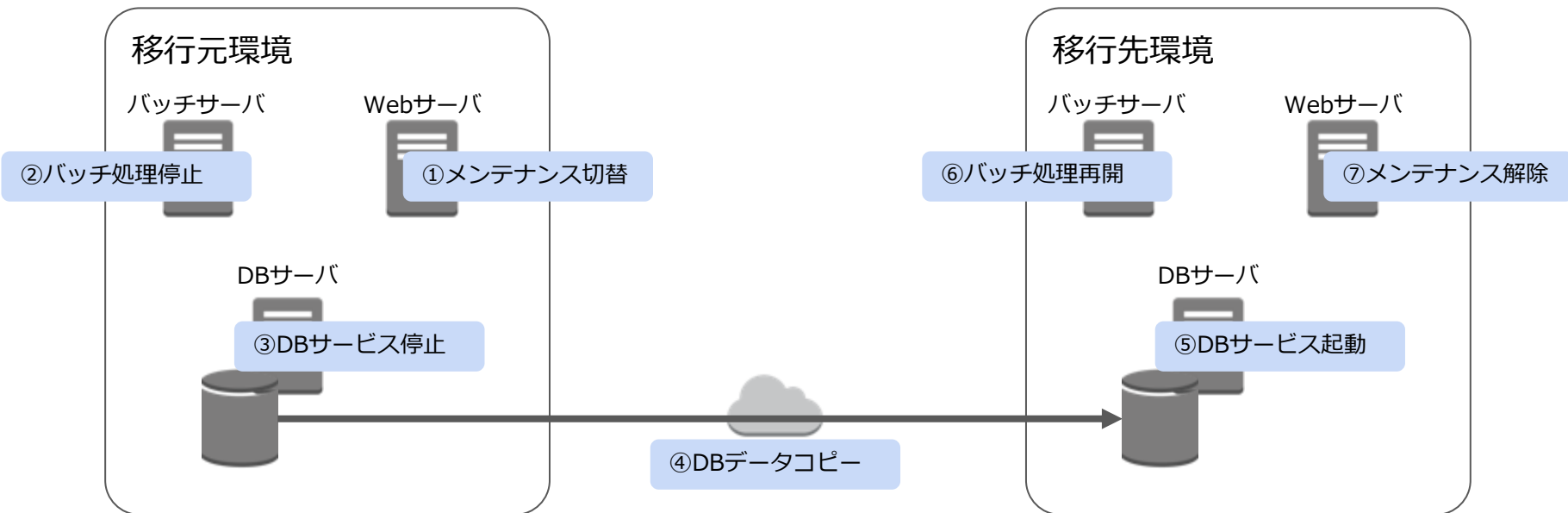
# 対応可能な移行方式について

移行方式	主に利用するツール	移行作業中のサービス影響	サービスダウンタイム	異種間DB移行	作業実績
データ領域コピー	rsync scpなど	完全停止	最長	不可	少
ダンプ/インポート	mysqldump mysqlコマンドライン	参照のみ可能	長い	不可	多
遠隔レプリケーション	mysqldump mysqlコマンドライン	切り替え直前まで参照/更新可能	短い	不可	多
データ移行ツール利用	AWS DMS(Data Migration Service) Alibaba DTS(Data Transmisson Service)	切り替え直前まで参照/更新可能	短い	可能	少

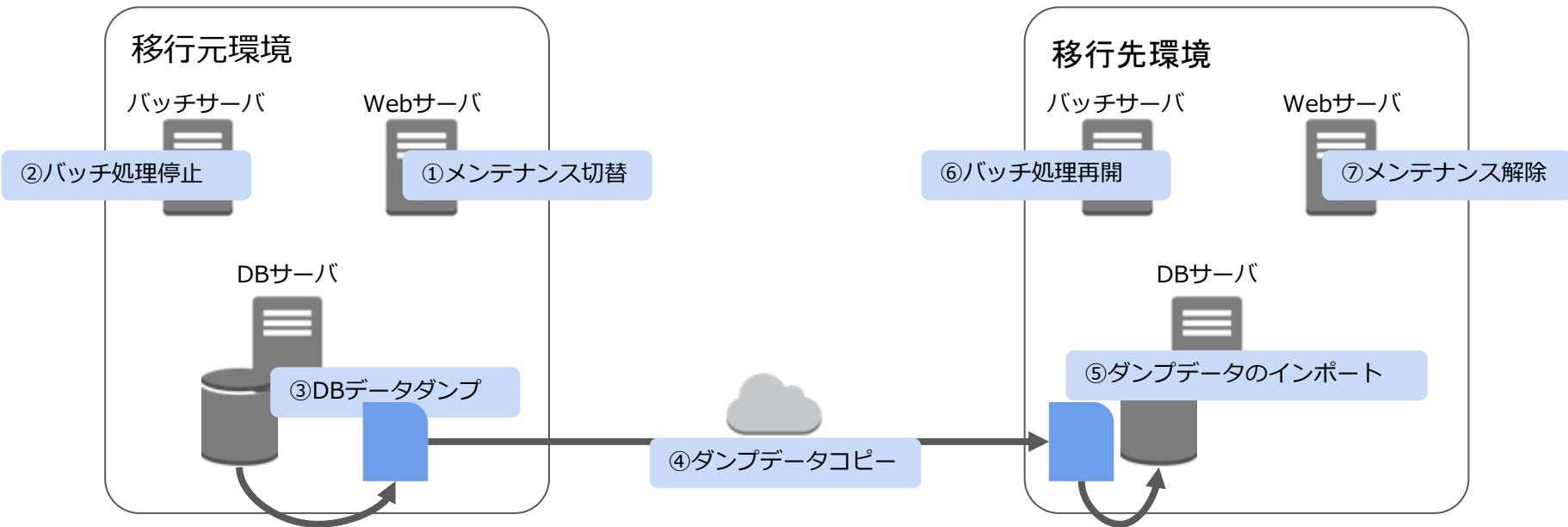
# 対応可能な移行方式と メリット / デメリット

移行方式	メリット	デメリット
データ領域コピー	<ul style="list-style-type: none"><li>● 完全な静止点を設けるため確実な移行が可能</li><li>● ダンプ/インポートよりは作業時間が短いことが多い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 移行作業中完全にDBサービスを停止する必要がある</li></ul>
ダンプ/インポート	<ul style="list-style-type: none"><li>● 移行作業中もデータの参照は可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 静止点を設けるためデータベースの更新ができない時間が長い</li><li>● 移行対象データの容量によっては作業に時間がかかる</li></ul>
遠隔レプリケーション	<ul style="list-style-type: none"><li>● 移行作業時の静止点確保時間が短い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● レプリケーション構成を構築するまでの時間と手間がかかる</li><li>● 移行元,移行先環境がRDSなどのPasSサービスの場合、レプリケーション環境を構築するための難易度が高くなる</li></ul>
データ移行ツール利用	<ul style="list-style-type: none"><li>● 移行作業時の静止点確保時間が短い</li><li>● 専用ツールであるため信頼性が高い</li><li>● 異種間DBの移行も可能</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 移行元データベースのバージョン、データ形式などの制約が多く、そもそも移行手段として利用できない場合がある</li><li>● 異種間DBの移行の際はさらに制約,検討事項が増える</li></ul>

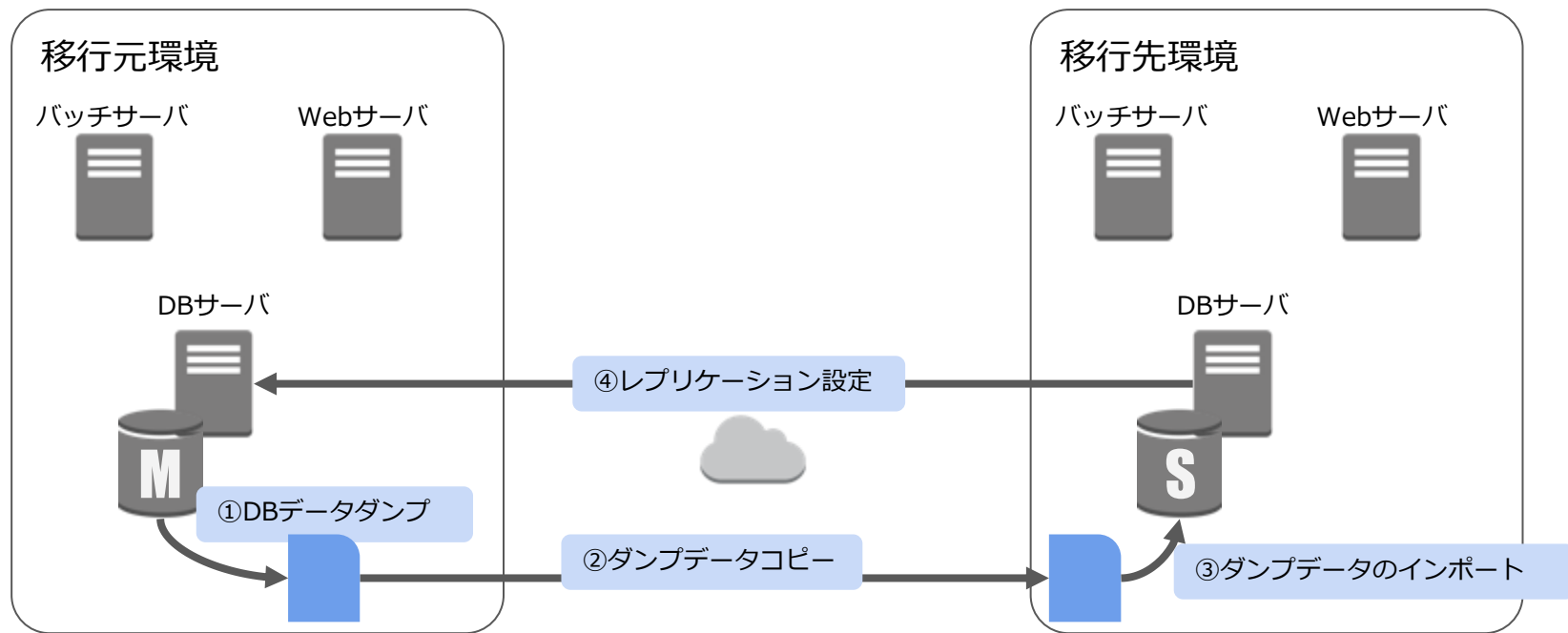
# 移行作業概要（データ領域コピー）



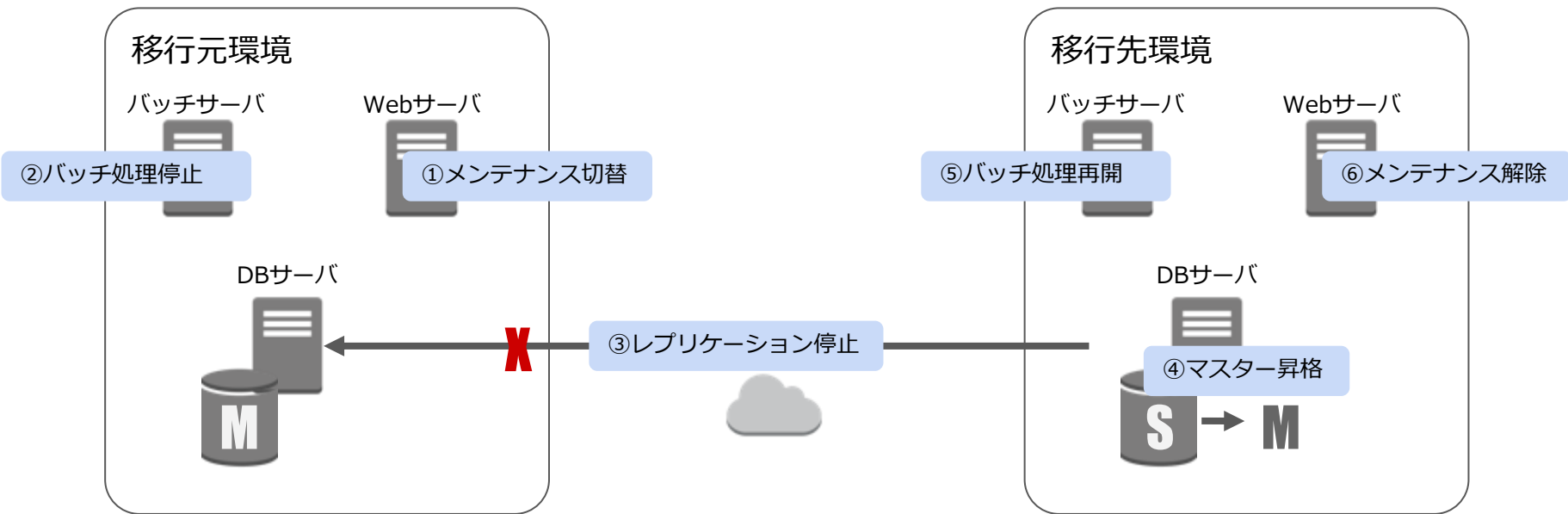
# 移行作業概要（ダンプ / インポート）



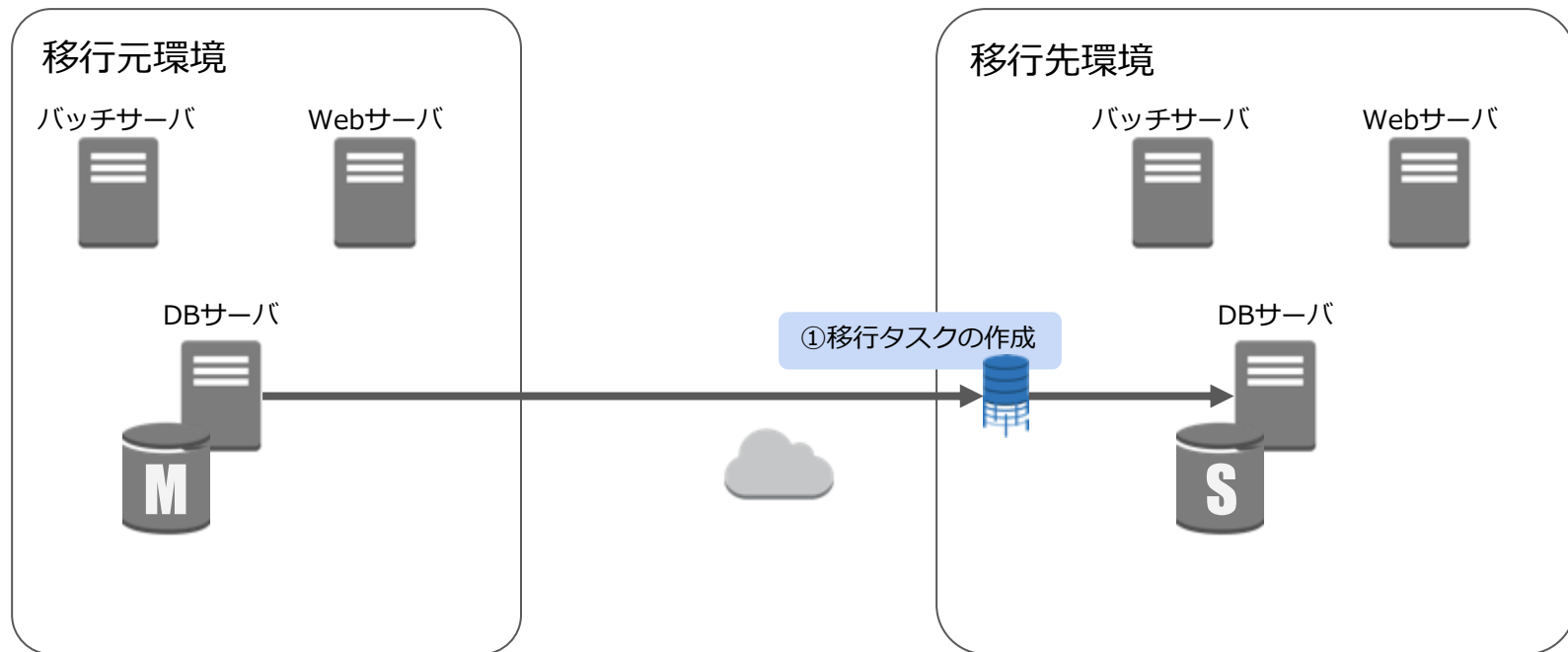
# 移行作業概要（遠隔レプリケーション - 準備）



# 移行作業概要（遠隔レプリケーション – 移行作業）



# 移行作業概要（移行ツール利用 – 準備）



# 移行作業概要（移行ツール利用 – 移行作業）

